

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	港区立児童発達支援センターばお		公表日 令和 8年 3月 19日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	・通園の部屋を使わせてもらえるのはありがたいが、16時台はまだ部屋が足りない時がある。	・設備基準に沿ったスペースが確保されています。年々ご利用者様が増えている状況があるため、各事業で調整し、スペースを活用できるように工夫してまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	・特に個別の利用者数は定員を設けていないため、職員の人数の変動に合わせて検討してもらえるとありがたい。終了や経過観察にするお子さんが増え、定期支援以外の選択肢が増えたように感じる。	・人員配置基準に定められた職員数を配置しています。その中で多様なニーズに対応できるように、他の関係機関とも連携しながら支援していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせて空間となっているか。	4	0	・活動に合わせて使う部屋を選んでいる。	・活動内容に合わせてスペースを活用しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	・ケース会、モニタリング、グループの振り返りなどで行っている。 ・上司が自分の仕事量や稼働率を気にしてくれている。	・職種ごとやグループごとの話し合いに加え、全体での研修や打ち合わせの場で、目標設定や振り返りを行っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・チームで検討し、共有するようにしている。 ・アンケートの実施。	・保護者アンケートの内容を職員全員で把握し、改善目標を検討しています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・CDSなどで確認してもらっている。	・日ごろの業務における意見交換に加え、職員向けアンケートの内容を職員全員で把握し、今後の対応を検討しています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	・モニタリングで他の人の意見も聞くことができる。	・モニタリングやケース会の場を活用し、チームで個別支援計画の作成や見直しに取り組んでいます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1	・職員体制などにより、評価や個別のケース数を制限してもらっているため、利用者の方にとっては不利益かもしれない。	・人員配置基準に定められた職員数を配置しています。職員の体調不良などで調整が必要になった際には、ご利用者様にとって最善の支援ができるように職員間で協力しています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0		

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	・必要に応じて保護者様から聞き取りとして行っている。 ・未就学児に利用していたところとの情報共有を私がしたことがないため。	・保護者様を通じて情報共有することに加え、必要に応じて、書面や電話にてやりとりし、連携しています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	・自分のケースとしてはないが、センター内の計画相談のやり取りや、系列事業所でのやり取りで適宜行われていると思う。	・まだ対象となるお子様はいませんが、ご相談があった場合には情報提供してまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	1	・児童発達支援センターとして研修を実施している。	・児童発達支援センターの中核機能として他機関向けの研修を実施しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	・対象児や支援の形態とマッチしないために実施していない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2		・必要に応じて、担当者が参加しております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	・きょうだい支援については、職員の研修を設けて取り組みに向けて理解を深めている。 ・きょうだい支援の研修を受けた。	・令和7年度には、外部講師を招き、きょうだい支援の研修を受講しました。当センターでできるきょうだい児支援のプログラムのについて検討してまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	・招待はないが、職員が参加する機会を設けている。	・令和7年度には、地域の事業所を対象とした見学・説明会や研修会を実施しました。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・訓練を重ねて、どんな時でも対応できるようにしている。	・各種訓練や研修を実施し、非常時の対応について共有しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	・食事場面を含む支援を行っていないため、実施していない。	・食事の提供は原則的に行っておりません。行事等での飲食の機会には、事前に保護者様に確認し、栄養士の助言を受けています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0			